

【編集後記】「リチウムイオン電池の出火火災」

最近リチウムイオン電池やこれを搭載した製品による出火火災が増えている。総務省消防庁の調査によると令和4年1月から7年12月の間に発生した当該火災件数は、4年601件、5年739件、6年982件、7年1,297件と増加の一途で推移している。リチウムイオン電池は、小型で軽量ながら十分な電力を確保でき、充電して繰り返し使えることからスマートフォンや電動工具、コードレス掃除機など身近で多様な製品に使用されているが、高温下に放置したり圧力や衝撃を与えると異常発熱を起し、火災の原因となる。ごみの収集車や処理施設で出火し火災となるケースもあった。事故防止のためには、連絡先が確かなメーカーや販売店から購入すること、真夏の自動車内やこたつの中など高温の中で放置しないこと、膨張したバッテリーを無理に押し込むなど衝撃を与えないこと、が肝要だ。また、処分の際には自治体やメーカーの指示に従い「正しく捨てる」ことにも留意したい。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2026年4月号（通巻67号）

■発行日 令和8年4月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 高尾 和彦

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号（日本消防会館内）

TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社